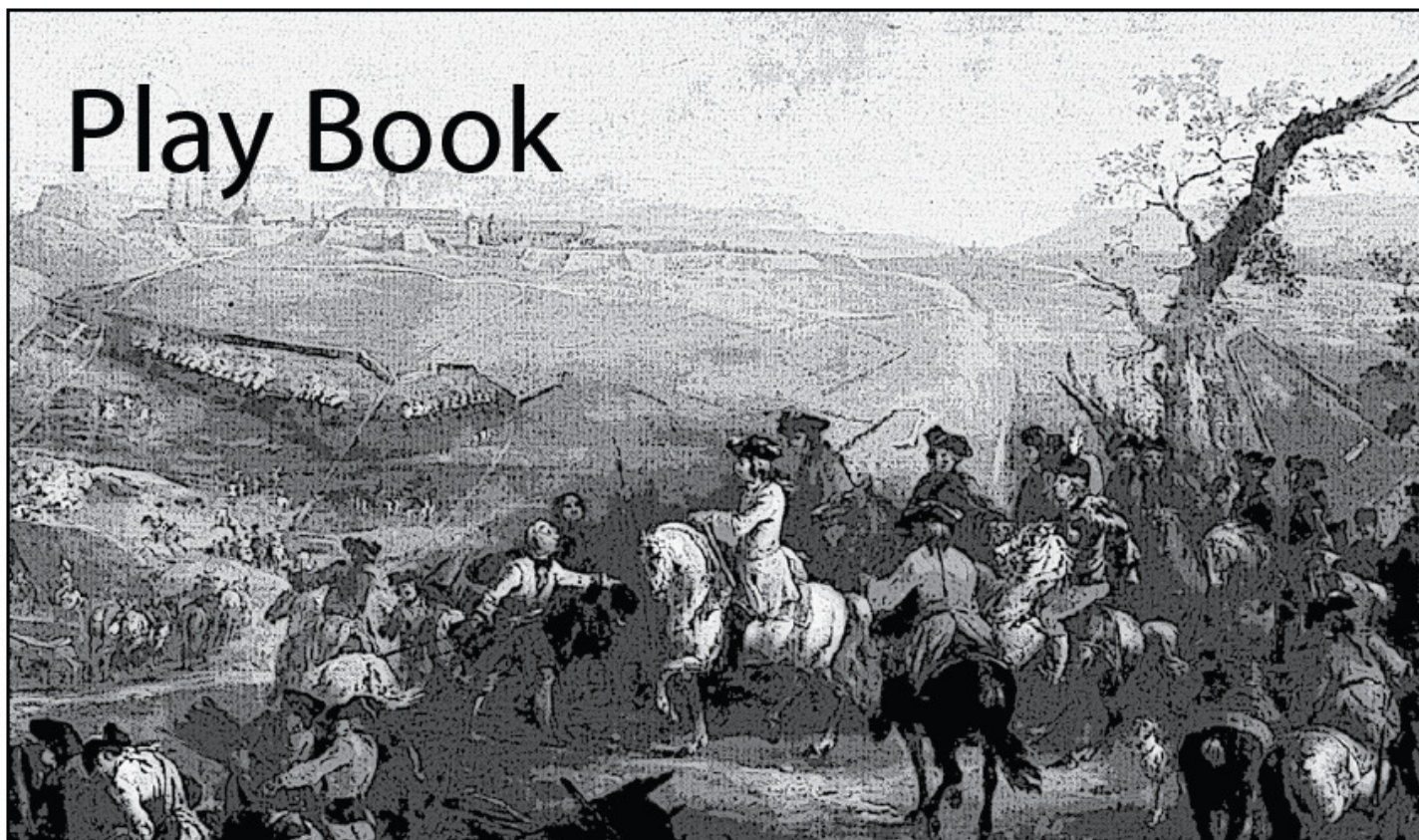


Clash of Monarchs

the seven years' war in europe, 1756-1763

Play Book



目次

導入 (Introduction)	2
1756 年: 導入シナリオ(Introductory Scenario)	3
1757 年: 荒廃の始まり(No Year More Rich)	6
1756~1757 年: フリードリッヒの攻勢(Frederick's Offensive)	9
1756~1758 年: 前半戦(The Early War)	9
1757~1758 年: 楽観主義の終焉(The End of Optimism)	9
1757~1759 年: 振り子の揺れ(The Pendulum's Swing)	10
1759~1762 年: プロシア対全ヨーロッパ(Prussia Contra Europe)	11
シナリオ期間のオプション(Tailored Year-End Scenario)	14
フル・キャンペーン(Full Campaign)	15
4 人用キャンペーン(Alliance Campaign)	15
1759~1762 年: 11 時間目(Eleventh Hour)	16
1767~1768 年: 第 4 次シレジア戦争(The Fourth Silesian War) 7 年戦争後シナリオ 1 (Post-War Scenario I)	19
外交チャート(Diplomatic Chart)	23

導入 (Introduction)

Clash of Monarchs は、戦争の異なった時期を扱ういくつかのシナリオと、戦争のほぼ全期間を扱った 2 つのキャンペーン・シナリオからなっている。

1756 年	導入シナリオ (Introductory Scenario)
1757 年	荒廃の始まり (No Year More Rich)
1756~1757 年	フリードリヒの攻勢 (Frederick 's Offensive)
1756~1758 年	前半戦 (The Early War)
1757~1758 年	楽観主義の終焉 (The End of Optimism)
1757~1759 年	振り子の揺れ (The Pendulum 's Swing)
1759~1762 年	プロシア対全ヨーロッパ (Prussia Contra Europe)
フル・キャンペーン	全戦争 (The Grand Panoply of War)
4 人用キャンペーン	敵対陣営 (The Enemies Made Known)

どのシナリオをプレイするかを決め、どのプレイヤーがどの列強(Power)をプレイするかを決める。

2 人プレイの場合は、片方が連合側(オーストリア(Austria)、フランス(France)、ロシア(Russia))を、もう片方がイギリス=プロシア同盟側(イギリス(Britain)とプロシア(Prussia))をプレイする。

3 人プレイの場合は、連合側プレイヤーのうち、1 人がオーストリアを、もう 1 人がフランスとロシアをプレイする。

4 人プレイの場合は、同盟側プレイヤーのうち、1 人がイギリスを、もう 1 人がプロシアをプレイする。

プレイヤーが最初は 1756 年シナリオをまずプレイすることを推奨する。この短い 2 人用シナリオは本ゲームの仕組みを学ぶためにはよい導入用となるであろう。

シナリオ・セットアップ

リーダー、SP、ユニットをマップまたは遊撃部隊方面(KK

Theater)ボックスにシナリオに示されているように配置する。スペース名の後ろについている記号はマップ上のおおよその意を示している。配置されなかった駒はマップ外に置いておく。大半のリーダー、一部の SP・ユニット・FD(前進補給集積所)は軍勢プール(Force Pool)に置くように明記されており、そこからリーダーを選んだり、徴兵(Recruit)を行ったりできる。

その他全てのリーダー・ユニット・SP はイベントで投入されるまでは使用できない。

全ての Lt infantry(軽歩兵/Lt inf)、Cavalry(騎兵/Cav)、Artillery(砲兵/Arty)は完全戦力で配置される。

注意: マップ修正(COM Map Patch)を適用する場合、ルー尔蒙ト(Roermond)に置かれる全てのユニット(Unit)はフエンロー(Venlo)に置くこと。

訳注: 以下の訳語及び略語を使用する

連合側(Coalition)

オーストリア(Austria)

フランス(France)

ロシア(Russia)

帝国(Empire)

サクソン(Saxony)

スウェーデン(Sweden)

(イギリス=プロシア)同盟側(Anglo-Prussian)

プロシア(Prussia)

イギリス(Britain)

ハノーバー(Hanover/HA)

戦列歩兵(SP)

騎兵(Line Cavalry)

軽歩兵(Lt. Inf)

軽騎兵(Lt. Cav)

前進補給集積所(Forward Depots/FD)

野戦砲兵(野砲)

攻城砲兵(攻城砲)

国庫(Treasury)

艦隊(Fleet)

野戦築城マーカー([Entrench])

君主意思(Monarchial Will/MW)

戦術チット(Tactic)

1756 年:導入シナリオ(Introductory Scenario)

もしも導入シナリオをプレイするならば、プレイヤーはオーストリア、サクソン、プロシア、帝国のみを配置すればいい。フランス、ロシア、スウェーデン、イギリスの配置は無視してよい。

セット・アップ

(1756 年、1756~1757 年、1756 年~1758 年、フル・キャンペーン)

連合(Coalition)

オーストリア

Kolin [J8]: 「M. Bowne」「Lacy」「Harsch」、
騎兵×2、軽騎兵×1、軽歩兵×2、
9SPs、野砲×2、FD
Olmitz [L9]: 「Nadasdy」「Piccolomini」「Hadik」
騎兵×2、軽騎兵×2、軽歩兵×2、
6SPs、攻城砲×1
Prag [J8]: 騎兵×1、軽歩兵×1、2SPs
Königgrätz [J8]: 2SPs、FD、[Entrench]
Zwittau [K8]: FD
Brünn [K9]: 2SPs
Wien [J10]: 2SPs
Budweis [I9]: FD
Liege [A6]: 1SP
Luxembourg [A7]: 1SP

フランス(中立)

Stasbourg [B8]: 「Armentieres」、騎兵×2、
軽騎兵×1、軽歩兵×1、8SPs、
攻城砲×1、FD
Metz [A8]: 1SP

ロシア(中立)

Vilna [Q2]: 「Apraxin」「Fermor」
「Rumyanstev」、騎兵×3、24SPs、
野砲×1、FD

帝国(中立)

Nürnberg [F8]: 「Hildburghausen-Saxe」、騎兵×1、
7SPs、FD

サクソン(中立)

Dresden [H6]: 「Rutowski」、騎兵×1、8SPs
Torgau [H6]: 1SP

スウェーデン(中立)

Stralsundg [H2]: 3SPs

連合側軍勢プール

オーストリア 軽騎兵×4、Grenzer 軽騎兵×1、
35SPs
フランス 騎兵×1、16SPs、FD
ロシア コサック軽騎兵×3、艦隊
帝国 5SPs
サクソン 5SPs
スウェーデン 軽騎兵×1、1SP

その他の全てのリーダー(ただし、「Charles」「Daun」
「Loudon(軍司令官)」「D'Estress」「Contades」「Subise」
「Brogile」「Chevert」「Montcalm」「G. Brown」を除く)。

連合側 MW

オーストリア 21
フランス 14
ロシア 17

連合側開始時国庫(ターレル)

オーストリア 10
フランス 7
ロシア 7
帝国 1
サクソン 0
スウェーデン 0

連合側 VP

オーストリア	0
フランス	0
ロシア	0

イギリス＝プロシア同盟(Anglo-Prussians)

プロシア

Magdeburg [G4]:	「Frderick」「Keith」「Ferdinand(軍団リーダー)」、騎兵×3、HUS 騎兵×1、軽歩兵×1、17SPs、野砲×1、攻城砲×1、FD
Breslau [K6]:	「Schwerin」、騎兵×2、HUS 騎兵×1、9SPs、野砲×1、攻城砲×1
Liegnitz [K6]:	「Maurice」「Brunswick -Bevern」、騎兵×1、HUS 騎兵×1、6SPs、FD
Settin [I3]	3SPs
Glogau [K5]:	1SP
Schweidnitz [K6]:	1SP
Glatz [K7]:	1SP
Neise [L7]:	1SP
Breig [L7]:	1SP
Minden [D4]:	1SP
Wesel [B4]:	2SPs

イギリス(中立)

Hanover [E4]:	「Cumberland」、HA-騎兵×2、HA-5SPs、HA-野砲×1、
Hameln [E4]:	[Zastrow]、HA-5SPs、攻城砲×1
Paderborn [D5]:	「Karl」、HA-3SPs
Stade [E2]:	HA-1SP
Wechta [D2]:	HA-1SP
Verden [E3]:	HA-5SPs

同盟側軍勢プール

プロシア	軽騎兵×4、軽歩兵×5、21SPs、2FDs
イギリス	HA-騎兵×1、HA-軽騎兵×1、HA-軽歩兵×2、HA-4SP、HA-FD、艦隊
その他の全てのリーダー(ただし、「Ferdinand(軍司令官)」 「Sackville」「Granby」を除く)。	

同盟側 MW

プロシア	16
イギリス	13

同盟側開始時国庫(ターレル)

プロシア	12
イギリス	8

同盟側 VP

プロシア	6
イギリス	0

エリアの徴発ポイント(FPs): 全て 0

遊撃部隊優越:	Border 「+1 連合(Coalition)」
(KK Advantage)	Germany 「+1 連合(Coalition)」

植民地紛争:	フランス限定優勢
(Colonial Conflict)	(Marginal French Advantage)

フェイズ・マーカー: フランス艦隊(French Fleet)+1

カード:

- ・ オーストリア: 2 枚の☆印のついた A1～A2 カードに加え、4 枚のカードを戦争前期(EW)デッキからランダムに引く。
- ・ プロシア: 3 枚の☆印のついた P1～P3 カード(P4 は選べない)に加え、3 枚のカードを戦争前期(EW)デッキからランダムに引く。
- ・ 山札: 戦争前期(EW)デッキをよく切る。
- ・ 使用しないカード: 戦争後期(WW)デッキ

効果中のイベント・マーカー: 1st Verailles(フランス援助(Subsidy)ボックス)

終了時期: 1756 年秋期(Fall)第 5 ラウンド

シナリオ勝利条件: 通常の勝利段階【23.4】に換えて、以下のものを使用する。

イギリス＝プロシア同盟の合計 VPs

+16～	同盟側決定的勝利(Decisive Victory)
+11～15	同盟側実質的勝利(Substantial Victory)
+9～10	同盟側限定的勝利(Marginal Victory)
+8	引き分け(Draw)
～+7	同盟側敗北(Defeat)

連合側の合計 VPs

+1～	連合側決定的勝利(Decisive Victory)
0	連合側実質的勝利(Substantial Victory)
-1	連合側限定的勝利(Marginal Victory)
-2～-3	引き分け(Draw)
～-4	連合側敗北(Defeat)

シナリオ終了時に「植民地状態(Colonial Status)」【23.0】による VP を加算しない。

特別ルール

1. 全ての列強は外交オプション(Diplomatic Option)で選択肢 A を選ばなければならない。上級ルール【24.3】は使用しない。
2. オーストリアとプロシアのみがゲーム開始時に参戦している。それぞれは戦術チットを 1 枚引く。
3. 1756 年秋期(Fall)第 1 ラウンドから開始する。
4. オーストリアが選択肢 B を選択しない限りは、上級(Advanced)ルールの帝国の圧力(Imperial Pressure)は使用しない。

1757 年—荒廃の始まり(No Year More Rich)

セット・アップ

(1757 年、1757～1758 年、1757 年～1759 年、
4 人用キャンペーン)

連合(Coalition)

オーストリア

Eger× [G7]: 「Arenberg」、騎兵×1、軽騎兵×
1、軽歩兵×1、10SPs
Prag [J8]: 「Charles」「M. Browne」
「Königsegg」、騎兵×3、軽騎兵×
2、軽歩兵×3、23SPs、野砲×2、
FD
Königgrätz [J8]: 「Serbelloni」、騎兵×1、軽騎兵×
1、軽歩兵×1、10SPs、野砲×1、
FD
Olmütz [L9]: 「Nadasdy」、軽騎兵×2、軽歩兵×
1、3SPs、攻城砲×1、FD
Brünn [K9]: 2SPs
Wien [J10]: 「Daun」、4SPs、攻城砲×1
Znaim [J9]: FD
Budweis [I9]: FD
Liege [A6]: 1SP
Luxembourg [A7]: 1SP

×一部または全部の軍勢は Prag で開始させてよい。

フランス

Stasbourg [B8]: 「Armentieres」、騎兵×2、
軽騎兵×1、軽歩兵×1、8SPs、
攻城砲×1、FD
Metz [A8]: 1SP

ロシア(中立)

Vilna [Q2]: 「Apraxin」「Fermor」
「Rumyanstev」、騎兵×3、24SPs、
野砲×1、FD

帝国

Nürnberg [F8]: 「Hildburghausen-Saxe」、騎兵×1、
7SPs、FD

スウェーデン(中立)

Stralsundg [H2]: 3SPs

連合側軍勢プール

オーストリア Grenzer 軽騎兵×1、6SPs
フランス 騎兵×1、16SPs、FD
ロシア コサック軽騎兵×3、艦隊
帝国 5SPs
サクソン 騎兵×1、5SPs
スウェーデン 軽騎兵×1、1SP

その他の全てのリーダー(ただし、「Loudon(軍司令官)」
「D 'Estress」「Contades」「Subise」「Brogile」「Chevert」
「Montcalm」「G. Brown」を除く)。

連合側 MW

オーストリア 17
フランス 16
ロシア 14

連合側開始時国庫(ターレル)

オーストリア 3
フランス 7
ロシア 7
帝国 1
サクソン (プロシアが占領中)
スウェーデン 0

連合側 VP

オーストリア -2
フランス 0
ロシア 0

連合側補給アクション(SAs)

オーストリア 1

イギリス=プロシア同盟(Anglo-Prussians)

プロシア

Liegnitz [K6]: 「Maurice」、騎兵×1、8SPs
Dresden [H6]: 「Frderick」「Keith」「Henry」
「Ferdinand(軍団リーダー)」
「Brunswick -Bevern」、騎兵×3、
HUS 騎兵×1、軽歩兵×1、21SPs、
野砲×1、攻城砲×1、
捕獲(Captured)MD
Zittau [J7]: HUS 騎兵×1、2SPs
Schweidnitz [K6]: 「Schwerin」「Winterfeldt」、騎兵×
2、HUS 騎兵×1、軽歩兵×1、
14SPs、野砲×1、FD
Settin [J3]: 2SPs
Magdeburg [G4]: 2SPs
Königsberg [N1]: 「Lehwaldt」、HUS 騎兵×1、9SPs
Breslau [K6]: 3SPs
Glogau [K5]: 1SP
Breig [L7]: 1SP
Glatz [K7]: 1SP
Neise [L7]: 1SP
Torgau [H6]: 1SP
Minden [D4]: 1SP
Wittenberg [H5]: 要塞保持(Held)マーカー
Prima [I7]: 要塞保持マーカー

イギリス

Hanover [E4]: 「Cumberland」、HA-騎兵×2、
HA-5SPs、HA-野砲×1、
Hameln [E4]: 「Zastrow」、HA-5SPs、攻城砲×1
Paderborn [D5]: 「Karl」、HA-3SPs
Stade [E2]: HA-1SP
Wechta [D2]: HA-1SP
Verden [E3]: HA-5SP

同盟側遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス

ドイツ(German): なし
境界(Border): PR-軽騎兵×2
北部(Northern): なし

同盟側軍勢プール

プロシア 軽騎兵×2、軽歩兵×1、2FDs
イギリス HA-騎兵×1、HA-軽騎兵×1、HA-
軽歩兵×2、HA-4SP、HA-FD、艦隊

その他の全てのリーダー(ただし、「Ferdinand(軍司令官)」
「Sackville」「Granby」を除く)。

同盟側捕虜

「Rutowski」

サクソン強制徴募(Impressed Saxons)

SA-5SPs

同盟側 MW

プロシア 17
イギリス 13

同盟側補給アクション(SAs)

プロシア 2

同盟側開始時国庫(ターレル)

プロシア 11
イギリス 8

同盟側 VP

プロシア +9
イギリス 0

エリアの微発ポイント(FPs):

境界方面(Border Theater)

Austria:	0
Bavaria:	0
Bohemia:	3
Moravia:	3
Saxony:	8
Silesia:	3

ドイツ方面(German Theater)

Austrian Netherland:	0
Lorraine:	0
Prussian Holdings:	0
Rhineland:	0
Westphalia:	0

北部方面(Northern Theater)

Brandenburg:	0
East Prussia:	0
Mecklenburg:	0
Pomerania:	0

遊撃部隊優越: Border 「+1 連合(Coalition)」
(KK Advantage) Germany 「+1 連合(Coalition)」

植民地紛争: フランス限定優勢
(Colonial Conflict) (Marginal French Advantage)

フェイズ・マーカー: フランス艦隊(French Fleet)+1

カード及び戦術チット:

- ・ プロシア: 1 個の戦術チットをランダムで引く。
- ・ 捨て札置き場:
 - オーストリア: A1、A11
 - プロシア: P1~3、P15
- ・ 山札: 残りの戦争前期(EW)デッキ
- ・ 使用しないカード: 戦争後期(WW)デッキ

効果中のイベント・マーカー: 2st Verailles(フランス援助(Subsidy)ボックス)、Saxony Depoiled(1756 年)、フランス

の約束(Commitment)

終了時期: 1757 年秋期(Fall)第 5 ラウンド

シナリオ勝利条件: A-P 同盟側に+0、連合に+8 を加える。

さらに同盟側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
いずれかのオーストリアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
(さもなくば実質的勝利に落ちる)

さらに連合側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がイギリス優勢(British Advantage)またはイギリス勝勢(Heavy Advantage)でないこと。
(さもなくば実質的勝利に落ちる)

注意: もしも両方の陣営がいずれかの勝利段階を得ているならば、高い方の勝利段階を得ている陣営が勝者となる。
もしも同じ勝利段階ならば、連合側が限定的勝利を得る。

特別ルール

1. デンマーク(Denmark)、ロシア、スペイン(Spain)、スウェーデンはゲーム開始時に中立である。全ての列強は

- 外交的選択肢(Diplomatic Option)で選択肢 A を選んでいる。イギリス、フランス(及び 1757 年秋期のロシア)は☆印のついた初期手札カードを持って開始する。
2. オーストリアは、任意の軽装部隊(Lt Unit)をマップ上から境界方面ボックスに移転してよい。
 3. 1757 年のカード引き(Draw)フェイズから開始する。

4. **ヒストリカル・オプション**:プレイヤーは 1757 年シナリオをより史実に近づけるために、全員が合意するならば以下のカードが最初の手札に含まれる。
 - ・ **オーストリア**:A4、A14
 - ・ **プロシア**:P5

1756～1757 年:荒廃の始まり(No Year More Rich)

1756 年シナリオのセット・アップと特別ルールを使用する。

1757 年シナリオの終了・勝利判定を使用する。

1756～1758 年:前半戦(The Early War)

セット・アップ

1756 年シナリオのセット・アップと開始時の状況を使用する。

終了時期:1758 年秋期(Fall)終了時

シナリオ勝利条件:A-P 同盟側に+1、連合に+6 を加える。

さらに同盟側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ **実質的勝利(Substantial Victory)**
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に +1 になっていること。
- ・ **決定的勝利(Decisive Victory)**
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に +1 になっていること。
いずれかのオーストリアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がイギリス優勢側であること。

さらに連合側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ **実質的勝利(Substantial Victory)**
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
- ・ **決定的勝利(Decisive Victory)**
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がフランス優勢側であること。

注意:もしも両方の陣営がいずれかの勝利段階を得ているならば、高い方の勝利段階を得ている陣営が勝者となる。もしも同じ勝利段階ならば、連合側が限定的勝利を得る。

特別ルール

1. プレイヤーは 1756 年の外交(Diplomacy)とプロシアの軍勢の再配置を、カードと戦術チットを引く前に行う。
2. 1756 年秋期のカード引き・フェイズにおいて、プロシアは 7 枚でなく 6 枚を引く。

1757～1758 年:楽観主義の終焉(The End of Optimism)

1757 年シナリオのセット・アップと特別ルールを使用する。

1756～1758 年シナリオの終了・勝利判定を使用する。

1757～1759 年:振り子の揺れ(The Pendulum's Swing)

セット・アップ

1757 年シナリオのセット・アップと開始時の状況を使用する。

終了時期:1759 年秋期(Fall)終了時

シナリオ勝利条件:A-P 同盟側に+2、連合に+5 を加える。

さらに同盟側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に +1 になっていること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に +1 になっていること。
いずれかのオーストリアの 2 エリア以上が荒廃 (Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がイギリス優勢側であること。

さらに連合側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃 (Devastated)してること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
いずれかのプロシアの 2 エリア以上が荒廃

(Devastated)してること。

植民地紛争(Colonial Conflict)がフランス優勢側であること。

注意:もしも両方の陣営がいずれかの勝利段階を得ているならば、高い方の勝利段階を得ている陣営が勝者となる。もしも同じ勝利段階ならば、連合側が限定的勝利を得る。

特別ルール

1. デンマーク(Denmark)、ロシア、スペイン(Spain)、スウェーデンはゲーム開始時に中立である。オーストリアとプロシアは外交的選択肢(Diplomatic Option)で選択肢 A を選んでいる。ロシア、フランス、イギリスは上級ルール【24.3】を使用しているならば選択肢を選ぶ。さもなくば、選択肢 A を選んだものとする。
2. オーストリアは、任意の軽装部隊(Lt Unit)をマップ上から境界方面ボックスに移転してよい。
3. 1757 年夏期(Summer)のカード引き(Draw)フェイズから開始する。注意:外交的選択で選択肢 A を選んでいないならば、☆印のついたカードを含めてゲームを開始してよい。

1759～1762 年:プロシア対全ヨーロッパ(Prussia Contra Europe)

セット・アップ

連合(Coalition)

オーストリア

Eger [G7]:	1SP
Prag [J8]:	「Daun」「Lacy」「Arenberg」、騎兵×3、SA-騎兵×1、軽騎兵×1、軽歩兵×1、16SPs、野砲×3、攻城砲×1
Reichenberg [J7]:	「Loudon(軍団司令官)」、騎兵×1、Chevauleger 騎兵×1、軽騎兵×1、5SPs、FD
Königgrätz [J8]:	2SPs、FD
Mittelwalde [K8]:	2SPs
Olmütz [L9]:	「Gemmingen」「De Ville」、騎兵×1、Chevauleger 騎兵×1、軽騎兵×1、軽歩兵×1、11SPs、野砲×1、攻城砲×1
Brünn [K9]:	2SPs
Wien [J10]:	2SPs
Nürnberg [F8]:	「Harsch」「Hadik」、騎兵×1、軽騎兵×1、軽歩兵×1、6SPs
Bamberg [F7]:	2SPs、FD
Liege [A6]:	1SP
Luxembourg [A7]:	1SP

帝国

Nürnberg [F8]:	「Zweibrücken」、騎兵×1、6SPs
Würzburg [E8]:	FD

フランス

Frankfurt am Main [D7]:	「Soubie」「Chevert」、騎兵×2、軽騎兵×1、13SPs、野砲×1、攻城砲×1、FD
Köln [C6]:	「Contades」「Broglie」「St. Germain」騎兵×3、軽騎兵×1、軽歩兵×1、28SPs、野砲×1

Venlo [B5]:	2SPs、攻城砲×1
Wesel [B4]:	「Armentieres」、騎兵×1、5SPs、
Stasbourg [B8]:	FD
Metz [A8]:	1SP
	1SP

ロシア

Königsberg [N1]:	「Saltikov」「Rumyanstev」「G. Browne」、騎兵×4、コサック軽騎兵×1、22SPs、野砲×2、FD
------------------	--

スウェーデン

Stralsundg [H2]:	「Lantinghausen」、騎兵×1、7SPs、FD
------------------	------------------------------

連合側遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス

ドイツ(German)	FR-軽歩兵×2
境界(Border)	AU-軽騎兵×2、AU-軽歩兵×2
北部(Northern)	コサック軽騎兵×2

連合側軍勢プール

オーストリア	Grenzer 軽騎兵×1、FC-軽歩兵×2、4SPs、FD×2
帝国	8SPs
フランス	騎兵×2、軽歩兵×1、13SPs、野砲×1、FD
ロシア	コサック軽騎兵×3、18SPs、艦隊
サクソン	10SPs
スウェーデン	軽騎兵×1、2SPs

その他の全てのリーダー(ただし、「Charles」「M. Browne」「Loudon(軍司令官)」「Serbelloni」「Montcalm(選択ルール【24.6.1】を使用していない場合)」「Apraxin」を除く)。

連合側 MW

オーストリア	7(疲弊状態(Exhausted))
フランス	11
ロシア	9

連合側開始時国庫(ターレル)

オーストリア	2
フランス	3
ロシア	4
帝国	0
サクソン	(プロシアが占領中)
スウェーデン	0

連合側 VP

オーストリア	-2
	1
	1

連合側補給アクション(SAs)

オーストリア	1
フランス	1
ロシア	1

イギリス=プロシア同盟(Anglo-Prussians)

プロシア

Schweidnitz [K6]:	「Frderick」「Finck」、騎兵×3、HUS 騎兵×2、軽歩兵×1、15SPs、野砲×3、FD
Dresden [H6]:	「Henry」「Brunswick -Bevern」「Zieten」、騎兵×2、HUS 騎兵×1、9SPs、野砲×1、捕獲(Captured) MD
Küstrin [I4]:	「Dohna」、騎兵×1、HUS 騎兵×1、11SPs、FD
Neise [L7]:	「Fouque」、軽歩兵×1、4SPs
Settin [J3]:	「Wedell」、KFK HUS 騎兵×1、2SPs
Breslau [K6]:	2SPs、攻城砲×1
Glogau [K5]:	1SP
Berlin [H4]:	1SP
Colberg [J2]:	1SP
Breig [L7]:	1SP
Glatz [K7]:	1SP
Torgau [H6]:	1SP、攻城砲×1
Magdeburg [G4]:	1SP
Arnsberg [D5]:	軽騎兵×1、

Leipzig [G6]:	要塞保持(Held)マーカー
Wittenberg [H5]:	要塞保持マーカー
Prima [I7]:	要塞保持マーカー

イギリス(中立)

Münster [C4]:	「Sporcken」「Erbprinz」「Brunswick」、HA-騎兵×1、HA-軽騎兵×1、BR-軽歩兵×1、7SPs (BR×2、HA×5)
Lippstadt [D5]:	「Zastrow」、HA-軽歩兵×1、HA-4SPs
Kassel [E5]:	「Ferdinand」「Granby」、騎兵×3 (BR×1、HA×2)、HA-軽歩兵×1、HA-8SPs、HA-野砲×1、HA-攻城砲×1、HA-FD
Marburg [D6]:	HA-1SP
Bremen [D3]:	BR-FD
Minden [D4]:	HA-1SP
Hanover [E4]:	HA-1SP

同盟側遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス

ドイツ(German)	なし
境界(Border)	PR-FB 軽歩兵×2、PR-FK 騎兵×2、PR-軽騎兵×1
北部(Northern)	PR-軽騎兵×1

同盟側軍勢プール

プロシア	Hussar 騎兵×1、軽歩兵×1、FK 軽騎兵×1、軽歩兵×1、FB 軽歩兵×1、20SPs、2FDs
イギリス	10SPs(BR×1、HA×9)、艦隊
その他の全てのリーダー(ただし、「Cumberland」「Schwerin」「Keith」「Maurice」「Ferdinand(軍団司令官)」「Winterfeldt」を除く)。	

同盟側捕虜

AU-10SPs、FR-2SPs、IM-1SP、「Rutowski」

同盟側 MW

プロシア	16
イギリス	8

同盟側開始時国庫(ターレル)

プロシア	8
イギリス	7

同盟側 VP

プロシア	+7
イギリス	0

同盟側補給アクション(SAs)

プロシア	2
イギリス	1

エリアの徴発ポイント(FPs):

ドイツ方面(German Theater)

Austrian Netherland;	0
Lorraine:	0
Prussian Holdings:	荒廃(Devastated)
Rhineland:	7
Westphalia:	9

境界方面(Border Theater)

Austria;	0
Bavaria:	7
Bohemia:	荒廃
Moravia:	12
Saxony:	12
Silesia:	12

北部方面(Northern Theater)

Brandenburg;	3
East Prussia:	荒廃
Mecklenburg:	3
Pomerania:	8

遊撃部隊優越: Border 「+1 同盟(Anglo-Prussian)」
(KK Advantage) Germany 「+1 同盟」

植民地紛争: イギリス限定優勢
(Colonial Conflict) (Marginal British Advantage)

フェイス・マーカー: 熱病(Typhus)

カード及び戦術チット:

- ・ イギリス:B1、
- ・ プロシア:1 個の戦術チットをランダムで引く。
- ・ 捨て札:
プロシア:P7、P10
- ・ 山札:残りの戦争前期(EW)及び戦争後期(WW)デッキを混ぜる。

効果中のイベント・マーカー:Saxony Depoiled(1756 年)、Generalstab、En Avant!、Army of Westphalia、Kloster-Zeven、Army of Main、Improved Lt. Doctrine、Clive of India、Russian Reinforcement(1757 年)、ハレー彗星(Halley's Comet)、Shuvalov's Observation Korps、Reinforcing Continental Success(1758 年)、Devalue the Thaler(1759 年)、フランスの約束(Commitment)、3rd Verailles(フランス援助(Subsidy)ボックス)、

1759~1762 年シナリオ及びキャンペーンシナリオ勝利条件:A-P 同盟側に+5、連合に+0 を加える。もしもエリザベータの死亡(Death of Elizabeth)イベントが起こったならば、同盟側の勝利段階を 1 つ下げ、連合側の勝利段階を 1 つ上げる。

シナリオ終了時期:1762 年秋期(Fall)第 5 ラウンド終了時

特別ルール

1. 全ての列強は外交的選択肢(Diplomatic Oprioin)で選択肢 A を選んでいる。1759 年のカード引き(Draw)フェイスから開始する。
2. **ヒストリカル・オプション:**プレイヤーは 1759~1762 年シナリオをより史実に近づけるために、全員が合意するならば以下のカードが最初の手札に含まれる。
 - ・ オーストリア:A15
 - ・ フランス:F22
 - ・ ロシア:R5
 - ・ プロシア:P23
 - ・ イギリス:B16

3. 軍勢追加のオプション：フランスのリーダー「Montcalm」を連合側の軍勢プールに【24.6.1】、及びロ

シアの攻城砲(Siege Artillery)を Königsberg【24.6.2】に加えてもよい。

シナリオ期間のオプション(Tailored Year-End Scenario)

プレイヤーは独自に開始時期と終了時期を組み合わせたシナリオをプレイしてよい。1756 年、1757 年、または 1759 年の開始年を使用し、適切な情報をシナリオから使用する。ハレー彗星(Halley's Comet)は 1758 年の年(Year)トラックに置く。任意の終了年を設定できる。1760 年または 1761 年の終了を設定する場合は以下の情報を使用し、それ以外は前述のシナリオから終了時期を使用する。

1760 年終了シナリオ勝利条件:A-P 同盟側に+3、連合に+4 を加える。

さらに同盟側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
Lorraine 及びいずれか連合側エリアの 3 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がイギリス優勢(Advantage)またはイギリス勝勢(Heavy Advantage)である事。

さらに連合側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
いずれかの同盟側の 3 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
いずれかの同盟側の 3 エリア以上が荒廃

(Devastated)してること。

植民地紛争(Colonial Conflict)がフランス優勢側であること。

1761 年終了シナリオ勝利条件:A-P 同盟側に+4、連合に+2 を加える。

さらに同盟側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
境界遊撃方面(KK Theater)ボックスが同盟側に+1 になっていること。
Lorraine 及びいずれか連合側エリアの 4 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がイギリス優勢(Advantage)またはイギリス勝勢(Heavy Advantage)である事。

さらに連合側は勝利段階を得るためには以下のことが求められる。

- ・ 実質的勝利(Substantial Victory)
いずれかの同盟側の 3 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
- ・ 決定的勝利(Decisive Victory)
いずれかの同盟側の 4 エリア以上が荒廃(Devastated)してること。
植民地紛争(Colonial Conflict)がフランス優勢側であること。

フル・キャンペーン(Full Campaign)

1756 年シナリオのセット・アップと特別ルールを使用する。1759～1762 年シナリオの終了・勝利判定を使用する。

特別ルール

1. プレイヤーは 1756 年の外交(Diplomacy)とプロシアの軍勢の再配置を、カードと戦術チットを引く前に行う。
2. 1756 年秋期のカード引き・フェイズにおいて、プロシアは 7 枚でなく 6 枚を引く。
3. もしも上級(Advanced)ルール【24.1】を使用しているならば、オーストリアが選択肢 B を外交選択で選んでいない限りは、1756 年秋期(Fall)にはダイスを振らない。

4 人用キャンペーン(Alliance Campaign)

1757 年シナリオのセット・アップと特別ルールを使用する。1759～1762 年シナリオの終了・勝利判定を使用する。

特別ルール

1. デンマーク(Denmark)、ロシア、スペイン(Spain)、スウェーデンはゲーム開始時に中立である。オーストリアとプロシアは外交的選択肢(Diplomatic Option)で選択肢 A を選んでいる。ロシア、フランス、イギリスは上級ルール【24.3】を使用しているならば選択肢を選ぶ。さもなくば、選択肢 A を選んだものとする。
2. オーストリアは、任意の軽装部隊(Lt Unit)をマップ上から境界方面ボックスに移転してよい。
3. 1757 年夏期(Summer)のカード引き(Draw)フェイズから開始する。注意:外交的選択で選択肢 A を選んでいないならば、☆印のついたカードを含めてゲームを開始してよい。

1759～1762 年:11 時間目(Eleventh Hour)

[2009 年 8 月改訂版ルールの新シナリオ]

セット・アップ

連合(Coalition)

オーストリア

Eger [G7]: 軽歩兵×1
Dresden [H6]: 「Daun」「Hadik」「Harsch」、CVL 騎兵×1、騎兵×1、SA-騎兵×1、軽騎兵×2、軽歩兵×2、23SPs、野砲×3、攻城砲×1
Königgrätz [J8]: 「Loudon(軍司令官)」「Deville」、騎兵×4、軽騎兵×2、軽歩兵×2、FCB 軽歩兵×1、26SPs、**野砲×2、攻城砲×1**、FD
Olmütz [L9]: 「Gemmingen」、軽歩兵×1、1SP
Brünn [K9]: 1SP
Wien [J10]: 1SP
Bamberg [F7]: FD
Liege [A6]: 1SP
Luxembourg [A7]: 1SP
Prag [J8]: 1SP、FD

帝国

Nürnberg [F8]: 「Stolberg」、騎兵×1、6SPs
Würzburg [E8]: FD

フランス

Wesel [B4]: 「Contades」「Soubie」「Armentieres」、騎兵×4、軽歩兵×3、35SPs、SA-3SPs、野砲×1、攻城砲×1、FD
Frankfurt am Main [D7]: 「Broglie」「St. Germain」「Stainville」、騎兵×3、軽騎兵×1、軽歩兵×2、21SPs、SA-3SPs、野砲×1、攻城砲×1

Venlo [B5]: 1SP
Roermond [A5]: 1SP
Stasbourg [B8]: 1SP
Metz [A8]: 1SP
Koblenz [C6]: 1SP
Köln [C6]: 1SP
Düsseldorf [C5]: 1SP

ロシア

Königsberg [N1]: 「Buturlin」「Chernysev」、騎兵×4、コサック軽騎兵×2、16SPs、野砲×4、FD

スウェーデン

Stralsundg [H2]: 「Lantinghausen」、騎兵×1、軽騎兵×1、5SPs、FD

連合側遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス

ドイツ(German) なし
境界(Border) AU-Grenzer 軽騎兵×1、AU-FCL 軽歩兵×2
北部(Northern) コサック軽騎兵×3

連合側軍勢プール

オーストリア 6SPs、FD×2
帝国 8SPs
フランス **騎兵×1**、FD×2
ロシア 34SPs、艦隊
サクソン 10SPs
スウェーデン 4SPs

その他の全てのリーダー(ただし、「Charles」「M. Browne」「Loudon(軍団司令官)」「Serbelloni」「Montcalm(選択ルール【24.6.1】を使用していない場合)」「Apraxin」を除く)。

連合側 MW

オーストリア	9(疲弊状態(Exhausted))
フランス	5(疲弊状態)
ロシア	5(疲弊状態)

連合側開始時国庫(ターレル)

オーストリア	1
フランス	1
ロシア	1
帝国	0
サクソン	0
スウェーデン	1

連合側 VP

オーストリア	2
	1
	1

連合側補給アクション(SAs)

オーストリア	1
フランス	1
ロシア	3

イギリス=プロシア同盟(Anglo-Prussians)

プロシア

Breslau [K6]:	「Frderick」「Dohna」、騎兵×4、HUS 騎兵×2、KF 軽騎兵×1、軽歩兵×2、20SPs、野砲×3、攻城砲×1
Torgau [H6]:	「Henry」「Wobersnow」、騎兵×2、HUS 騎兵×2、KF 軽騎兵×1、10SPs、野砲×2、
Küstrin [I4]:	「Finck」、3SPs
Neise [L7]:	1SP
Settin [J3]:	1SP
Glogau [K5]:	1SP
Berlin [H4]:	1SP
Colberg [J2]:	1SP
Breig [L7]:	1SP
Glatz [K7]:	1SP
Schweidnitz [K6]:	1SP

Magdebrg [G4]:	1SP
Leipzig [G6]:	要塞保持(Held)マーカー
Wittenberg [H5]:	要塞保持マーカー
Prima [I7]:	要塞保持マーカー

イギリス(中立)

Münster [C4]:	「Ferdinand」「Erbprinz」「Karl」、HA-騎兵×2、BR-騎兵×1、HA-軽騎兵×1、HA-軽歩兵×1、BR-軽歩兵×1、BR-Legion 軽騎兵×1、25SPs (BR×3
Kassel [E5]:	、HA×22)、野砲×1、攻城砲×1 「Sporcken」「Granby」、HA-騎兵×1、BR-騎兵×1、HA-LTFK 騎兵×1、HA-軽歩兵×1、HA-7SPs、
Bremen [D3]:	HA-FD
Minden [D4]:	BR-FD
Hanover [E4]:	HA-1SP
Stade [E2]:	HA-1SP HA-1SP

同盟側遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス

ドイツ(German)	なし
境界(Border)	PR-FB 軽歩兵×3、PR-FK 騎兵×1、PR-軽騎兵×3、Kleist Freikorps Hus×1、Freikorps 軽歩兵×1
北部(Northern)	P なし

同盟側軍勢プール

プロシア	Hussar 騎兵×1、軽歩兵×1、軽歩兵×1、FB 軽歩兵×1、28SPs、
イギリス	2FDs BR-3SPs、艦隊
その他の全てのリーダー(ただし、「Cumberland」「Schwerin」「Keith」「Maurice」「Ferdinand(軍団司令官)」「Winterfeldt」を除く)。	

同盟側捕虜

AU-10SPs、FR-2SPs、IM-1SP、「Rutowski」

同盟側 MW

プロシア	8(疲弊状態(Exhausted))
イギリス	3(疲弊状態)

同盟側開始時国庫(ターレル)

プロシア	11
イギリス	3

同盟側 VP

プロシア	+3
イギリス	0

同盟側補給アクション(SAs)

プロシア	2
イギリス	1

エリアの徴発ポイント(FPs):

ドイツ方面(German Theater)

Austrian Netherland:	0
Lorraine:	0
Prussian Holdings:	荒廃(Devastated)
Rhineland:	荒廃
Mecklenburg:	7
Westphalia:	荒廃

境界方面(Border Theater)

Austria:	0
Bavaria:	7
Bohemia:	荒廃
Moravia:	12
Saxony:	荒廃
Silesia:	荒廃

北部方面(Northern Theater)

Brandenburg:	荒廃
East Prussia:	荒廃
Pomerania:	荒廃

遊撃部隊優越: Border 「+1 同盟(Anglo-Prussian)」
(KK Advantage) Germany 「+1 同盟」

植民地紛争: イギリス勝勢
(Colonial Conflict) (Heavy British Advantage)

フェイス・マーカー: 熱病(Typhus)

カード及び戦術チット:

- ・ イギリス: B1、1 個の戦術チットをランダムで引く。
- ・ プロシア: 1 個の戦術チットをランダムで引く。
- ・ 捨て札:

プロシア: P7、P10

オーストリア: A19

- ・ 山札: 残りの戦争前期(EW)及び戦争後期(WW)デッキを混ぜる。

効果中のイベント・マーカー: Saxony Depoiled(1756 年)、Generalstab、En Avant!、Army of Westphalia、Kloster-Zeven、Army of Main、Improved Lt. Doctrine、Clive of India、Russian Reinforcement(1757 年)、ハレー彗星(Halley's Comet)、Shuvalov's Observation Corps、Reinforcing Continental Success(1758 年)、Devalue the Thaler(1759 年)、フランスの約束(Commitment)が適用、Saxony Ravaged、Ferdinand VI Dead、Polish Grain Embargo、Glorious Reinforcement、Devalue the Thaler、Larger Bear(1760 年)、3rd Versailles(フランス援助(Subsidy)ボックス)、Prussian Subsidy(プロシア援助(Subsidy)ボックス)

シナリオ終了時期: 1762 年秋期(Fall)第 5 ラウンド終了時

1759~1762 年シナリオ及びキャンペーンシナリオ勝利条件: A-P 同盟側に+5、連合に+0 を加える。もしもエリザベータの死亡(Death of Elizabeth)イベントが起こったならば、同盟側の勝利段階を 1 つ下げ、連合側の勝利段階を 1 つ上げる。

特別ルール

1. 全ての列強は外交的選択肢(Diplomatic Option)で選

択肢 A を選んでいる。1759 年のカード引き(Draw)フェイズから開始する。

2. **ヒストリカル・オプション**:プレイヤーは 1759~1762 年シナリオをより史実に近づけるために、全員が合意するならば以下のカードが最初の手札に含まれる。

- ・ **オーストリア**:A15
- ・ **フランス**:F22
- ・ **ロシア**:R5

- ・ **プロシア**:P23
- ・ **イギリス**:B16

4. **軍勢追加のオプション**:フランスのリーダー「Montcalm」を連合側の軍勢プールに[24.6.1]、及びロシアの攻城砲(Siege Artillery)を Königsberg[24.6.2]に加えてもよい。

1767~1768 年:第 4 次シレジア戦争(The Fourth Silesian War)

7 年戦争後シナリオ 1 (Post-War Scenario I)

[2009 年 8 月改訂版ルールの新シナリオ]

史実と異なり、トラガウでフリードリッヒに命中したマスケット銃の弾丸は勢いのなくなったものでなく、致命的なものであった。翌朝、王は死亡した。プロシアの奮闘にも関わらず、この敗戦はプロシア軍と政治的指導力を荒廃させた。連合は戦争に勝利し、史実のフベルトゥスブルク条約とは程遠い屈服をプロシアに強いた。後継者のヘンリー大公はシレジアをテレジア女帝に変換することを強制され、東プロシアとポメラニアの一部をロシアに譲渡した。プロシア軍は疲弊した上にその国力も半減し、かつての強国であったプロシアの一部でしかないブランデンブルグ=ポメラニアで再建を細々と始めるしかなかった。

4 年後、エカテリーナ女帝はオーストリアのシレジアにおける成功とロシアが東プロシアで得たものと引き合わないと考えた。そして短期間で終わらせられるであろう戦争で何かを得られると結論付け、行動に移した。状況は芳しいものであった。7 年戦争の終戦時、オーストリアは崩壊寸前であったのに対し、ロシア軍は強力であり、兵站能力は改良されていた。女帝は慎重に同盟相手を探し、フランスという思ってもみなかった共謀者を見つけ出した。テレジア女帝の成功は、神聖ローマ帝国内で、フランスがその地域に抱いている野望に対し、オーストリアの影響力を強力にしすぎた。フランスが帝国内で自由に行動を行えるようになるならば、ロシアがシレジアへ侵攻する案を支持した。ハノーバーは条約により非武装化されており、プロシアのみが不確定要

素であったが、フリードリッヒ亡き今、軍隊も大幅に弱体化し、10 年前と異なり脅威になるとは思えなかった。1767 年 3 月に秘密条約はストラスブールで調印された。9 万人のロシア軍がバチューリンの指揮下にポズナムに集結し、一方でストラスブールでは老練なブロイが 8 万人のフランス兵を集めた。テレジアは最高指揮官としてラウドン元帥をシレジアに、ダウン元帥をプラハに、比較すれば寡兵であるが配置しており、サクソンと帝国内の諸国を同盟をして第 4 次シレジア戦争に備えていた。

夏を通じて、戦役の様相が明らかになった。そして 9 月にはヘンリー王がプロシア軍を動員した。しかし誰のために？

第 4 次シレジア戦争は 2~3 人プレイヤー用の 4~5 時間の仮想シナリオである。

セット・アップ

オーストリア/神聖ローマ帝国(Austria/Empire)

オーストリア

Eger [G7]:	「Serbelloni」、軽歩兵×1、5SPs、
Prag [J8]:	FD
	「Daun」「Lacy」、騎兵×2、両用騎兵×1、軽騎兵×2、野砲×3、攻城砲×1、15SPs
Linz [I10]:	

Königgrätz [J8]:	軽歩兵×1
Olmütz [L9]:	1SP
Brünn [K9]:	1SP
Wien [J10]:	1SP
Liege [A6]:	「Hadik」、軽歩兵×1、6SPs
Luxembourg [A7]:	1SP
Roermond [A5]:	1SP
Glogau [K5]:	「Arenberg」、8SPs、FD
Breslau [K6]:	「Piccolomini」、軽騎兵×1、4SPs 軽騎兵×1、3SPs
Schweidnitz [K6]:	「Loudon(軍司令官)」「Nadasdy」 「Deville」「Harsch」、騎兵×3、軽騎兵×2、 軽歩兵×2、20SPs、FD、 野戦築城(Entrenchment)マーカー
Glatz [K7]:	1SP
Cosel [L8]:	1SP
Neise [L7]:	1SP
Breig [L7]:	1SP

サクソン

Dresden [H6]:	「Rutkowski」、両用騎兵×1、
Leipzig [G6]:	13SPs
Wittenburg [H5]:	1SP
Görlitz [J6]:	1SP
Prima [J7]:	1SP
Torgau [H6]:	1SP 1SP

帝国

Nürnberg [F8]:	「Zweibrücken」「Stolberg」、騎兵×1、 7SPs、AU-軽騎兵×1、FD
Würzburg [E8]:	1SP
Frankfurt [D7]:	1SP
Koblentz [C6]:	1SP
Köln [C6]:	1SP
Mainz [C7]:	「Hildburghausen」、6SPs

オーストリア・帝国遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス
なし

オーストリア・帝国軍勢プール

オーストリア FC Beck、FC Laudon 軽歩兵
「Charles」「Browne」は存在しない。

オーストリア MW

オーストリア 10

連合側開始時国庫(ターレル)

オーストリア 10

サクソン 5

ロシア 2

ロシア=フランス同盟(Russia/France Alliance)

ロシア

Königsberg [N1]:	2SPs
Grodno [盤外]:	「Saltikov」「Browne」、野砲×1、 25SPs
Poznań [K4]:	「Buturlin」「Rumantsyev」 「Chernysev」、騎兵×4、コサック軽騎兵×3、 野砲×4、攻城砲×1(選択ルール)、35SPs、FD
Colberg [J2]:	「Tottleben」、5SPs、艦隊(FD)
Touruń [M4]:	4SPs
Malbork [M2]:	1SP
Warsaw [O5]:	コサック軽騎兵×1、5SPs

フランス

Stasbourg [B8]:	「Broglie」「Stainville」「Contades」 「Castries」、騎兵×5、軽騎兵×1、 軽歩兵×3、野砲×1、36SPs、攻城砲×1、FD
Wesel [B4]:	5SPs
Münster [C4]:	1SP
Hanover [E4]:	4SPs
Minden[D4]:	「Clermont」「Armentieres」、騎兵×2、 軽歩兵×2、野砲×1、28SPs
Metz [A8]:	4SPs
Saarbrücken [B8]:	2SPs

ロシア・フランス遊撃部隊方面(KK Theater)ボックス
なし

ロシア・フランス軍勢プール

フランス 軽歩兵×1(裏面)
ロシア コサック軽騎兵×1
ロシアのリーダー「Apraxin」と「Fermor」は存在しない

ロシア・フランス MW: 7

同盟側開始時国庫(ターレル)

ロシア 10
フランス 8

中立プロシア

Küstrin [I4]: 「Bevern」「Zieten」、騎兵×2、軽騎兵×3、軽歩兵×1、野砲×2、
Settin [J3]: 11SPs
「Lehwalt」「Fouche」、HUS 騎兵×
Berlin [H4]: 2、軽歩兵×2、1SP
「Henry」「Kleist」「Maurice」、騎兵×3、HUS 騎兵×3、野砲×3、
Müncheberg [I4]: 15SPs, FD
Spandau [H4]: 軽騎兵×1
Magdeburg [G4]: 「Wobersnow」、1SP
「Goltz」、HUS 騎兵×1、軽歩兵×3、攻城砲×1、11SPs, FD

中立プロシア軍勢プール

軽騎兵×3、軽歩兵×2

中立プロシア開始時国庫(ターレル)

プロシア 0

中立ハノーバー(Hanover)

Lüneburg [F3]: HA-1SP
Stade [E2]: HA-1SP
Kassel [E5]: HA-1SP
Hanover [E4]: HA-1SP

エリアの徴発ポイント(FPs):

全てなし

オーストリア・帝国の開始エリア:

Silesia、全てのオーストリア・サクソン・帝国のエリア

ロシア・プロシアの開始エリア:

Lorraine、Westphalia、Pomerania、East Prussia

プロシアの開始エリア(参戦時):

Brandenburg、Prussian Holdings

遊撃部隊優越(KK Advantage)

なし

VP 調整:なし

カード:

オーストリア・プレイヤー及びロシア&フランス・プレイヤーはそれぞれのデッキを使う。ロシアとフランスはそれぞれ別の山札を作り、そこから以下に示す枚数を引いて、フランス&ロシア・プレイヤーはそれらを合同し共通手札とする。

1767 年開始時: 7 枚

それ以降のカード引き: 6 枚

プロシア参戦時のカード引き: 4 枚

それ以降のプロシアのジカード引き: 5 枚

プロシア(Prussia)、イギリス(Britain)、サクソン(Saxony)、デンマーク(Denmark)についてのイベントはプレイできない。

中立性または中立に対してのイベント及びいずれかの年が指定されているイベントもプレイできない。P7、P22、A13、オーストリアとロシアの軽装部隊(Lt Unit)以外の増援(Reinforcement)イベント、及び全てのローン(Loan)イベントはプレイできない。その他のイベントは全てプレイ可能である。

効果中のイベント・マーカー:

General Stabs、Russian Improved Supply、Loudon Ascendant(1767 年)、オーストリアの補給共有(Supply Sharing)マーカーを任意のオーストリアまたは帝国の軍勢に置いてもよい。

勝利条件:

VP

10+	ロシア決定的勝利(Decisive Russian)
7~9	ロシア実質的勝利(Substantial Russian)
5~6	ロシア限定的勝利(Marginal Russian)
2~4	オーストリア限定的勝利(Marginal Austria)
0~1	オーストリア実質的勝利(Substantial Austria)
<0	オーストリア決定的勝利(Decisive Austria)

荒廃 1 エリアごと、及び荒廃まで 50%以上の略奪ポイントが置かれている 2 エリアごとに、帝国の連合側エリアならば +1VP、ロシア・フランス側のエリアならば -1VP。

シナリオ終了時期:1768 年秋期(Fall)第 5 ラウンド終了時。ただし、1 枚でもいずれかの Power(列強)が冬期作戦(Winter Operation)を行えるカードを持っているならば、全ての冬期戦略カードを勝利決定前にプレイする。

特別ルール及びルール変更

以下の変更または例外を除き、通常のルールを適用する。

- ・ **プレイ順:**ハレー彗星前(Pre-Halley)
- ・ **SP 制限:**制限は無視される
- ・ **疲弊(Exhausted)・ゲーム終了:**疲弊及び赤いゾーンに MW が落ちた場合の罰則はない。単に MW が 0 になった場合のゲーム終了のルールのみが適用される。
- ・ **ハノーバー(Hanover):**Hanover スペースへは、フランスの小部隊(Minor Force)を除いては移動できない。全てのピンク(Pink)及び紫(Purple)の要塞はフランスがゲーム開始時に所持しているとみなす。Hanover は 1VP のみとみなす。
- ・ **ポーランド(Poland):**Torun、Poznan、Gdansk は 1VP、Warsaw は 2VP である。
- ・ **プロシア(Prussia):**1767 年秋期第 3 ラウンドに各プレイヤーは 1 個のダイスを振る。ダイスを振る前に、それぞれのプレイヤーは 1 枚または 2 枚のカードを捨て札とし、それらの Ops 値を自分のダイスに加えてよい。オーストリア・帝国連合側プレイヤーはさらに +2 のダイス修正を受ける。合計値が高い側にプロシアは参戦し、プロシアが加わった側の MW は 1 増加する。**例外:**もし


も合計値が同数ならば、プロシアはゲーム中は中立で留まる。

- ・ **都市の VP:**Magdeburg 及び Berlin は 1VP である。
- ・ **冬(Wintewr)及び秋期徴兵(Spring Recruiting):**1768 年の冬期戦略カード引きは行う。通常の春期維持・徴兵は行わない。代わりに各列強、帝国、サクソンは通常の「未疲弊(Pre-Exhausted)徴兵ダイス振りを行う。ただし、プロシアは 2 個のダイスしか振れない。**プレイヤーはターレルを春期に通常のルール通りに砲兵、FD の再建などに消費できる。シナリオ・ルールにより禁じられたものを除き、全ての列強の駒は軍勢プールにある。**
- ・ **君主意思(Monachial Will)都市:**Prag と Wien はオーストリア・帝国連合側の MW 都市である。Warsaw、Roermond、及び全てのフランスの要塞はロシア・フランス側の MW 都市である。プロシアの都市とハノーバーは MW の減少には数えない。
- ・ **リーダー:**通常の最低リーダー数と代替リーダー引きは適用される。

外交チャート(Diplomacy Chart)

各プレイヤーは外交(セグメント)において、上から順番に次のプレイヤーが選択を行う前に自身の外交におけるアクションを選択する。標準(ヒストリカル/Standard)ゲームでは、どのような場合も選択肢 A(Select A)を選択している。

1756 年 7 月

オーストリア (Austria)	A) 攻撃待機(Delayed Attack) <ul style="list-style-type: none"> オーストリアはプロシアが防御(Defend Prussia)ならば中立となる ハレー彗星前のプレイ順 プロシアが 1757 年夏期第 2 ラウンドより前に連合側のエリアを攻撃したならば、1757 年のイギリスの約束(Commitment)は有効 	B) 即時攻撃(Immediate Attack) <ul style="list-style-type: none"> オーストリアとプロシアが参戦する。 帝国とサクソンは中立。 ハレー彗星前のプレイ順 フランスの MW-1 イギリスの約束(Commitment)は有効 	
ロシア (Russia)	A) 攻撃待機(Delayed Attack) <ul style="list-style-type: none"> ロシアは中立 ロシアの MW-1 	B) 即時攻撃(Immediate Attack) <ul style="list-style-type: none"> ロシアとプロシアは参戦 初期手札に 国カードは入らない ロシアの約束(Commitment)は有効(Attack) イギリスの約束(Commitment)は有効 	
プロシア (Prussia)	A) サクソンを攻撃(Attack Saxony) <ul style="list-style-type: none"> プロシアとオーストリアは参戦 帝国とサクソンはオーストリアの従属国(Client)として参戦 P1~P3 カードはプロシアの初期手札に含まれる。 フランスの MW+1 フランスの約束(Commitment)は有効)1st Versailles Subsidy) <ul style="list-style-type: none"> 2nd Versailles 段階に増加させてもよい 	B) オーストリアを攻撃(Attack Austria) <ul style="list-style-type: none"> プロシアとオーストリアは参戦 帝国はオーストリアの従属国(Client)として次の外交フェイズに参戦、サクソンは中立 P1~P4 カードはプロシアの初期手札に含まれる。 サクソン 侵 攻 (Invasion of Saxony) イベントはプレイ不可 フランスの約束(Commitment)が有効(1st Versailles Subsidy) <ul style="list-style-type: none"> Balance of Power 段階に増加させてよい 	C) プロシアを防御(Defend Prussia) <p>(オーストリアの選択が B ならば、自動的にこれを選ぶ)</p> <ul style="list-style-type: none"> オーストリア及びロシアが共に中立なら 1757 年夏期までプロシアは中立 Breslau, Liegnitz、Magdeburg の任意のプロシアの軍勢を別の任意のプロシア軍勢の場所に移せる P1 カードはプロシアの初期手札に含まれる。 イギリス MW+1、フランス MW-1 フランスの約束は<u>ない</u>

1756 年冬期(Winter)及び以降の外交(Diplomatic)フェイズ

オーストリア (Austria)	<ul style="list-style-type: none"> もしも帝国が中立ならば、ターレルを支払って帝国を参戦させてよい。その都市の夏期に参戦させるならば 3 ターレル(Thl)、秋期に参戦させるならば 1 ターレル 		
ロシア (Russia)	A) 慎重な攻撃 <ul style="list-style-type: none"> ロシアは 1757 年秋期フェイズに参戦する 	B) エリザベータの情熱 <ul style="list-style-type: none"> オーストリアとロシアはそれぞれロシア参戦のダイス振りのために 2 ターレルを減らす。その出目が 1757 年夏期の参戦するラウンド数(6 の目は 1757 年秋期の第 1 ラウンド)。ロシアは追加 1 ターレルを支払うごとにダイス目に-1DRM を加えてよい。 初期手札に★カードは入らない フランスの MW-1 	
フランス (France)	A) ハノーバーを攻撃 (ロシアが 1757 年に B を選択していると不可) <ul style="list-style-type: none"> フランスとイギリスは次のカード引きフェイズに参戦 オーストリア+1VP イギリスは約束を取り消せる フランスの約束が有効なら 1st Versailles Subsidy+攻撃 (1758 年のプロシアの選択が A か B なら援助レベルは上がらなければならない) 	B) プロシアを攻撃 (プロシアが A か B の場合のみ) <ul style="list-style-type: none"> フランスは次のカード引きフェイズに参戦 F1 カードのみはフランスの初期手札に含まれる。 前進(En Avant!)は 1758 年になるまでプレイ不可 オーストリアの MW+1 フランスの約束が有効なら 1st Versailles Subsidy+ 攻撃 (1758 年のプロシアの選択が A か B なら援助レベルは上がらなければならない) ロシアは 1757 年の外交フェイズを行わない。 	C) 植民地に傾注 (プロシアが A を選ぶと不可) <ul style="list-style-type: none"> イギリスが C かプロシアが B を選ぶまではフランスは中立 フランスが中立なら、各カード引きフェイズに 1-0ps をプレイしたとして植民地作戦を行う。 F1 カードはフランスが参戦時の初期手札に含まれる。 前進(En Avant!)は 1758 年になるまでプレイ不可 フランスの約束が有効なら 1st Versailles Subsidy+攻撃



イギリス (Britain)	A) ハノーバーを防御 (Defend Hanover) (フランスが A なら自動的にこれを選ぶ) <ul style="list-style-type: none"> フランスが中立ならイギリスも中立 イギリスが中立なら、各カード引きフェイズに 4-0ps をプレイしたとして植民地作戦を行う A-A 軍勢はドイツ方面のみに制限される イギリスの約束がなされているならプロシアに 7 ターレル、さもなくばイギリス-1VP 及びプロシア MW-2 	B) プロシアを支援 (Support Prussia) (プロシアが C の場合のみ) <ul style="list-style-type: none"> イギリスは次のカード引きフェイズに参戦 イギリス MW-1 A-A 軍勢は境北部方面と Saxony にも移動できる イギリスの約束がなされているならプロシアに 7 ターレル、さもなくばイギリス-1VP 及びプロシア MW-2 	C) フランスを攻撃 (Attack France) <ul style="list-style-type: none"> イギリスとフランスは次のカード引きフェイズに参戦 イギリスの約束がなされているならプロシアに 7 ターレル、さもなくばイギリス-1VP 及びプロシア MW-2
-------------------	--	---	--

ロシア、フランス、イギリスの Commitment(約束)

ロシアの攻撃約束

最低でも RU-20SPs がプロシアの軍勢に対して戦闘またはオーバーランを行うか、プロシア支配の要塞の攻囲を開始(Lay Siege)するか支配するか、プロシア支配の VP スペースを支配する。さもなくば、オーストリアの MW が各外交フェイズ中に-1 される。

フランスの攻撃約束(French Commitment Attack)

最低でも FR-13SPs がプロシアの軍勢に対して戦闘またはオーバーランを行うか、プロシア支配の要塞の攻囲を開始(Lay Siege)するか支配するか、プロシア支配の VP スペースを支配する。さもなくば、オーストリアの MW が各外交フェイズ中に-1 される。

もしも参戦したならば、約束を 1758 年以降は 3rd Versailles Subsidy(攻撃なし)のみに減らすことできる。その場合はそれぞれロシアとオーストリアの MW-1。

イギリスの攻撃約束(French Commitment Attack)

最低でも A-A-6SPs がオーストリア、帝国、スウェーデンの軍勢に対して戦闘またはオーバーランを行うか、連合側が支配する北部方面(Northern Theater)の要塞の攻囲を開始(Lay Siege)するか、支配する。

もしも参戦したならば、1758 年以降の 7 ターレルのプロシアへの援助(Subsidy)を行っても停止してもよい。もしも停止したならば、プロシアの MW-2。

訳注:援助(Subsidy)【20.2.3】については、援助表(Subsidy Chart)も参照のこと。